

DR.YOKO's Cafe

体にちょっと優しいお話し

健康づくりで気をつけたいポイントや
病気の予防方法をお伝えします。

今月の
テーマ

風しんにご用心！

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の麻疹感染症で「3日ばしか」とも呼ばれています。感染力が強く、1人の風しん患者から5〜7人にうつると言われています。重篤な合併症を引き起こす場合も多く、特に大人になつてから発症した場合、小児よりも重症化する傾向にあります。

妊婦が風しんに罹ると、胎児への影響が発生する（先天性風しん症候群）可能性があります。そのため、注意が必要です。



風しんの症状

風しんは飛沫（くしゃみや唾液）などによって他人にうつり、流行は春先から初夏にかけて多くみられます。潜伏期間は2〜3週間ですが、ウイルスに感染しても明らかな症状がでることがないまま免疫ができてしまう人が1〜3割程度いるようです。

【主な症状】

- ・発熱
- ・発疹
- ・リンパ節腫脹
- ・眼の充血
- ・口腔内の発疹



大人がかかると、発熱や発疹の期間が子どもに比べ長く、関節痛がひどいことが多いとされています。



先天性風しん症候群とは

妊娠20週頃まで（特に妊娠初期）の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、白内障、心疾患、精神や身体発達の遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があり、これらの障がいを先天性風しん症候群といいます。

妊娠前に2回の予防接種を受けることによって、女性なら妊娠中の風しん感染を予防でき、妊婦の周りの方は妊婦に風しんをうつすことを予防できます。

ただし、妊娠中は風しんの予防接種を受けられないので、妊娠を希望する場合は、女性だけでなく周りの方も早めに予防接種を受けることが重要です。



風しんの予防策

風しんは、風しん含有ワクチンを接種することで予防できます。一度抗体を得ればほぼ一生持続すると言われています。

風しんのかかりやすさが年代によって異なる？

30歳代から50歳代前半の男性は、風しんウイルスに対する抗体が不十分だといわれています。これはワクチンの定期予防接種制度の移り変わりが関係しています。ご自身の接種状況や抗体有無は母子手帳・抗体検査で調べることができます。

自治体によっては、妊娠を希望する方の予防接種にかかる費用の助成をすることもあります。積極的に予防接種を受け、風しんから大切な人を守りましょう。

風疹 & 麻疹

なぜ、風しんにかかりやすい年代と かかりにくい年代があるのですか？

平成2年4月以降に生まれた人は2回、公費でワクチンを受ける機会がありましたが、昭和37年度から平成元年度に生まれた女性及び昭和54年度から平成元年度に生まれた男性は受けていても1回です。そして、昭和54年4月以前に生まれた男性は1回もその機会がなく、十分な免疫を持たない人たちが存在していると考えられています。

抗体検査を受けたいのですが、無料で 受けられるのでしょうか？ また、どこで検査を受けられますか？

風しんの抗体検査は近医でも受けることが可能です。現在、妊娠を希望する女性と妊婦の同居家族を対象として、風しんの抗体検査を無料で受けられる自治体が増えてきました。自治体ごとに風しん対策の補助の有無や額が異なるため、抗体検査を希望される方は、検査可能な医療機関を含めて、まずはお住まいの地域の保健所にご相談ください。

妊娠を希望しています。どのタイミングで 予防接種を受けたらよいですか？

妊娠していない時期にワクチン接種を行い、その後2ヶ月間の避妊が必要です。風しんワクチンは大変安全なワクチンで、妊娠中に風しんワクチンを接種されたため胎児に障がいが出たという報告はこれまで世界的にもありませんが、その可能性は理論的にまったく否定されているというわけではありませんので、上記の注意が必要です。

妊娠中です。風しんの流行が心配です

妊娠初期（20週以前）に風しんにかかると、胎児が先天性風しん症候群になる可能性が高くなります。妊娠前であればワクチン接種を受けることが重要ですが、既に妊娠中であればワクチン接種をうけることができません。不必要な外出を避け、人ごみに近づかないようにするなどの注意が必要です。

男性も女性も
抗体検査・ワクチン
接種を受けましょう！



SHINKOKAI 医療法人社団進興会

せんだい総合健診クリニック

住所 〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1
仙台トラストタワー 4F

TEL 022-221-0066(代表)

URL <https://www.sskclinic.jp/>

記事についてのお問い合わせ ☎022-221-1274

今年、風しんの当たり年なのか、5年ぶりに患者数が2千人を超え、都市圏を中心に昨年の22倍にも達しようとしていました。原因としては国の予防接種事業が年齢によってまちまちだったのに起因しています。まずは、ご自分の風しん抗体の有無を確認することが大切ですので、風しん抗体があるかないか不明な方は、まず、風しん抗体検査を受けましょう。仙台市では、条件はありますが無料で受けられる制度もあります。風しん抗体を調べ、抗体（一）であった場合は、予防接種を受けてください。風しんの予防接種は一生に一回でほぼ大丈夫と言われています。厚労省も流行の中心となっている30代から50代の男性について、予防接種を積極的に受診するよう呼びかけています。



せんだい総合健診クリニック
院長 石垣洋子